

スズキ、2017年3月期第1四半期決算を発表

－ 減収・営業利益増益、業績予想据置き －

1. 第1四半期決算の業績概況

当第1四半期の連結売上高は7,540億円と前年同期に比べ189億円(2.4%)減少しました。国内売上高は軽自動車やOEM売上が減少したものの、登録車の増加等により2,500億円と前年同期に比べ27億円(1.1%)増加しました。海外売上高はインドや欧州等での四輪車の販売は増加したものの、インドネシア、パキスタンでの四輪車の販売減、および為替影響等により5,040億円と前年同期に比べ216億円(4.1%)減少しました。

連結利益の面では、営業利益は為替影響があったものの、インド、欧州での四輪車の販売増等により592億円と前年同期に比べ40億円(7.2%)増加しましたが、経常利益は金融収支の減少等により613億円と前年同期に比べ10億円(1.7%)減少しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等の減少や非支配株主に帰属する四半期純利益の控除が減少したことなどにより380億円と前年同期に比べ63億円(19.7%)増加しました。

2. 各セグメントの状況

四輪車事業につきましては、国内売上高は軽自動車販売やOEM売上が減少したものの、昨年度に投入した「ソリオ」、「エスクード」、「イグニス」、「バレーノ」など登録車の販売が伸びたことにより前年同期を上回りました。海外売上高はインドや欧州等での販売は増加したものの、インドネシア、パキスタンでの販売減、および為替影響等により前年同期を下回りました。この結果、四輪車事業の売上高は6,844億円と前年同期に比べ75億円(1.1%)減少しました。営業利益は為替影響があったものの、インド、欧州での販売増等により558億円と前年同期に比べ22億円(4.0%)増加しました。

二輪車事業につきましては、売上高は欧州、北米、アジアでの売上減少、為替影響等により507億円と前年同期に比べ102億円(16.7%)減少しました。営業利益は前年同期の営業損失26億円から営業損失6億円となりました。

特機等事業の売上高は米国での船外機の売上は増加しているものの為替影響等により189億円と前年同期に比べ12億円(5.7%)減少しました。営業利益は40億円と前年同期に比べ2億円(6.1%)減少しました。

所在地別の営業利益につきましては、日本は為替影響等もあり267億円と前年同期に比べ5億円(1.8%)減少し、アジアも為替影響等により236億円と前年同期に比べ55億円(18.9%)減少しましたが、欧州はコンパクトSUV「ビターラ」の販売好調などにより21億円と前年同期に比べ12億円(136.5%)増加しました。

3. 連結業績予想

連結業績予想につきましては前回公表予想から変更ありません。当社グループは一丸となつてあらゆる分野での改革に取り組み、以下の連結業績予想以上を達成すべく事業活動を展開してまいります。

(連結業績予想…通期)

売上高	3兆1,000億円	(前期比 2.5%減)
営業利益	1,800億円	(前期比 7.8%減)
経常利益	1,850億円	(前期比 11.5%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	930億円	(前期比 20.3%減)
(為替レート) 1米ドル=105円、1ユーロ=120円、1インドルピー=1.60円、 100インドネシアルピア=0.80円、1タイバーツ=3.00円		

以上